

北陸橋梁保全会議「橋梁保全に関する講演会」実施概要

- 日時 平成24年12月6日(木) 13時～
- 会場 新潟ユニゾンプラザ「多目的ホール」
新潟市中央区上所2-2-2
- 主催 北陸橋梁保全会議 実行委員会
- 国土交通省北陸地方整備局、新潟県、富山県、石川県、新潟市、東日本高速道路(株)新潟支社、中日本高速道路(株)金沢支社、(一社)日本橋梁建設協会、(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会、(財)新潟県建設技術センター、(財)海洋架橋・橋梁調査会、(社)北陸建設弘済会、(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部 [13機関]

プログラム

- 12:00 ～ 開場・受付
- 13:00 ～ 開会挨拶
北陸橋梁保全会議 実行委員長
北陸地方整備局 道路部長 後藤 敏行
祝辞
北陸地方整備局長 橋場 克司氏
- 13:10 ～ 14:10 特別講演
『コンクリート構造物の耐久性、
補修・補強技術』
長岡技術科学大学 環境・建設系 教授 丸山 久一氏
- 取りやめ 講演
『道路橋の予防保全の取り組み』
国土交通省道路局 国道・防災課 道路保全企画室長 土井 弘次氏
- 14:10 ～ 15:00 講演
『東日本大震災の教訓と
鋼橋の保全』
(一社)日本橋梁建設協会 保全委員会幹事長 河西 龍彦氏
- 15:00 ～ 15:15 休憩(15分)
- 15:15 ～ 16:05 講演
『PC橋の維持保全のあり方』
(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会
保全・補修部会 副部会長 藤原 保久氏
- 16:05 ～ 16:55 講演
『道路橋のマネジメント』
国土交通省 国土技術政策総合研究所
道路構造物管理研究室長 玉越 隆史氏
- 17:00 閉会挨拶
北陸橋梁保全会議 実行副委員長
(一社)日本橋梁建設協会 企画委員会幹事長 笠木 治弥

第1回北陸橋梁保全会議の概要

○ 開催概要

目的：橋梁保全に関する情報交換・発信のプラットフォームとして、産・学・官が連携し、橋梁保全に関する技術の向上、研鑽を目指す。

開催：平成25年11月11日（月）～12日（火）
新潟市中央区「新潟グランドホテル」

参加者：延べ910名が参加
（企業、行政、大学など）

第1回 北陸橋梁保全会議



開会式

○ 基調講演

「道路橋の維持管理について」
～地方自治体がすべきことできること～
西川 和廣（一財）橋梁調査会 専務理事

○ 基調講演のポイント

- 橋梁の寿命を左右する大きな要因は、塩分と水であり、橋梁の長寿命化を図るためには損傷の早期発見、早期補修が重要。
- 国内の橋梁の約95%は自治体管理の橋梁であるが、人材は絶望的に足りない。
- 直轄、高速道路と地方道の予防保全の目標には違いがあって当然。
- 専門技術者以外でも点検ができるよう、より簡易な点検手法の構築が必要となっている。
- 橋の寿命は管理者次第で可変。地に足をついた持続性のある橋梁保全が必要。



基調講演(西川氏)



会場の様子